

## 耐火構造大臣認定書(写し)申込み・発行及び使用要領

1. 「木造軸組工法による耐火建築物設計マニュアル」資料編①、資料編②の運用規定及び運用手順に準じて、(一社)日本木造住宅産業協会(以下、木住協)は耐火構造大臣認定書(写し)等一式を、1棟ごとに発行します。
2. 耐火構造大臣認定書(写し)の発行申し込みは、発行代金をお振込みいただき、耐火構造大臣認定書(写し)発行申請書「様式-1 会員用」または「様式-1 非会員用」をHPよりダウンロードし、必要事項をご記入の上、振込領収書を添付してFAXにてお申込み下さい。
3. 振込先 銀行名： 三菱UFJ銀行 虎ノ門中央支店  
口座番号： 普通預金 5549315  
口座名： (一社)日本木造住宅産業協会
4. 発行代金及び送料
  - ・耐火構造大臣認定書(写し)(1時間耐火構造)のみ、あるいは、耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)のみ発行申請される場合は、  
発行申請者が**会員**： 5,500円/セット(税、送料込み)  
発行申請者が**非会員**： 55,000円/セット(税、送料込み)となります。
  - ・耐火構造大臣認定書(写し)(1時間耐火構造)と(2時間耐火構造)を**あわせて**発行申請される場合は、  
発行申請者が**会員**： 11,000円/セット(税、送料込み)  
発行申請者が**非会員**： 110,000円/セット(税、送料込み)となります。
5. 注意事項
  - ・耐火構造大臣認定書(写し)(A4版)は、契約書添付用2部1セットとなります。耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)もあわせて発行申請される場合は、更に、耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)の2部1セットも送付します。
  - ・使用耐火構造大臣認定表(A4版)は、確認申請添付用2部1セットとなります。耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)もあわせて発行申請される場合は、更に、耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)の2部1セットも送付します。
  - ・発行された耐火構造大臣認定書(写し)や使用耐火構造大臣認定表は、物件ごとに木住協発行番号で管理します。耐火構造大臣認定書(写し)は物件を特定して発行されますので、申請した物件が何らかの理由により**建築中止**になった場合は、**耐火構造大臣認定書(写し)**及び**使用耐火構造大臣認定表**の**返却**が必要となります。返却確認後、次回ご利用される物件に振替えます。
  - ・「木造軸組工法による耐火建築物標準仕様書」(A3版)、「木造軸組工法による耐火建築物標準詳細図」(A3版)「木造軸組工法による耐火建築物工事自主検査チェックリスト」(A3版)、建築確認済報告書・工事完了報告書「様式-2」、月次進捗報告書「様式-3」も各1部同封されます。耐火構造大臣認定書(写し)(2時間耐火構造)も併せて発行申請される場合は、標準仕様書(2時間耐火構造)、標準詳細図(2時間耐火構造)、自主検査チェックリスト(2時間耐火構造)も送付します。

- ・構造計算適合性判定が必要な建築確認申請には、使用耐火構造大臣認定表を3部送付しますので、発行申請書の上部に✓点を記載して下さい。
6. 耐火構造大臣認定書(写し)を契約図書の一部にする際に下記の点に注意して下さい。
    - ・使用する大臣認定番号を、表紙の使用認定欄に✓を記載して下さい。
    - ・使用しない認定書(写し)の部分も切り離さずに表紙を含めて1部セットで添付して下さい。
    - ・表紙を含めて複写を添付することは禁止されています。
  7. 使用耐火構造大臣認定表を建築確認申請に添付する際に下記の点に注意して下さい。
    - ・使用する大臣認定番号を、該当する使用認定欄に✓を記載して下さい。
    - ・複写を添付することは禁止されています。
    - ・必要に応じて「木造軸組工法による耐火建築物標準仕様書」「木造軸組工法による耐火建築物標準詳細図」を建築確認申請図書として添付して下さい(コピー可)。
  8. 申請者は当該物件の状況を、着工後、月次進捗報告書「様式 - 3」にて報告して下さい。着工日、上棟完了日を記載し、当月の該当する工事に○を付け、提出日、報告者氏名を記載し、木住協へFAXにて報告して下さい。
  9. 申請者は当該物件の建築確認済証交付後、速やかに建築確認済報告書・工事完了報告書「様式 - 2」に必要事項を記入の上、所定の提出書類とあわせて木住協へFAXにて報告して下さい。
  10. 申請者は当該物件の建築工事が完了後、速やかに確認済報告書・工事完了報告書「様式 - 2」に必要事項を記入の上、木住協へFAXにて報告して下さい。完成外観写真(1枚以上)のデータも送付(宛先: gijutu\_k1018@mokujukyo.or.jp)して下さい。
  11. 「様式 - 1」「様式 - 2」「様式 - 3」の書式は、必要に応じて木住協ホームページからダウンロードして下さい。<https://www.mokujukyo.or.jp/kensetsu/paper.php>
  12. 現場案内について  
耐火建築物の実例紹介や施工情報の写真紹介できる物件を募集しています。つきましては、事務局関係者に建築現場をご案内いただけるか、実例集への写真掲載が可能か否かを「耐火構造大臣認定書(写し)発行申請書「様式 - 1 会員用」または「様式 - 1 非会員用」の所定の欄に記載してください。木住協より連絡させていただくことがありますので、ご了承ください。



## ◆建築確認済報告書・工事完了報告書「様式 - 2」

- ・建築確認済報告書、工事完了報告書とも同じ用紙を使用する
- ・工事完了報告時は、★印（赤字）の箇所を追記してFAXにて提出

建築確認済報告時には、大臣認定書（写し）記入済表紙コピー、または使用耐火構造大臣認定表のコピー、確認済証、確認申請書の第一面～第四面を提出する。

耐火構造大臣認定書（写し）発行申請書記載内容と変更があった場合は、

- ・変更ありに✓を入れる
- ・変更内容を記入

その場合にも、講習会修了登録や建築確認申請書の記載と整合性は必須。

(一社)日本木造住宅産業協会 技術開発部 宛  
TEL:03-5114-3012 FAX:03-5114-3020 E-MAIL:gijutu.k1018@mokujukyo.or.jp

様式-2

建築確認済報告書 発行済欄  
工事完了報告書  
★印(赤字)の項目を記入  
★完成写真データを上記E-MAILアドレス宛に送信

建築確認済報告書(建築物の第一面~第四面)  
★大臣認定書(写し)の記入済表紙(3枚) または 使用耐火構造大臣認定表(3枚) のコピー

木造軸組工法による耐火建築物 建築確認済報告書・工事完了報告書

一般社団法人 日本木造住宅産業協会  
会長 市川 晃 殿 以下の通り提出いたします。

建築確認済報告日 年 月 日  
★工事完了報告日 年 月 日

認定書(写し)表紙または使用耐火構造大臣認定表表紙上の木匠印発行番号

1時間耐火構造  
2時間耐火構造

★完成写真データ Eメール送信日 年 月 日

工事名称

建築場所 (住居表示)

地域区分 □ 防火地域 □ 準防火地域 □ 法22条地域 □ その他( )

建物用途 □ 専用住宅 □ 共同住宅 □ 準用住宅 □ 大規模住宅  
□ 高齢者福祉施設

階数・構造 地上 階 ~

着工予定日 年 月

上棟予定日 年 月

報告者 (発行申請者)  
氏名  
会社名  
住所 〒  
連絡先 TEL E-MAIL

※認定書(写し)の発行申請者と同一であること

設計者  
氏名  
会社名  
住所 〒  
連絡先 TEL E-MAIL

工事監理者  
氏名  
会社名  
住所 〒  
連絡先 TEL E-MAIL

工事施工者  
氏名(代表者)  
会社名  
住所 〒  
工事自主接洽 実務者  
連絡先 TEL E-MAIL

※以下の事項について、認定書(写し)発行申請書記載の内容から変更があった場合には「変更あり」に✓を記入し、各項目を記入して下さい。  
(建築確認済報告書及びその後変更になった場合は変更箇所を訂正のうえ再FAX下さい)

設計者  
氏名  
会社名  
住所 〒  
連絡先 TEL E-MAIL

工事監理者  
氏名  
会社名  
住所 〒  
連絡先 TEL E-MAIL

工事施工者  
氏名(代表者)  
会社名  
住所 〒  
工事自主接洽 実務者  
連絡先 TEL E-MAIL

※個人情報の取扱いについて  
今回ご記入いただきました個人情報は、本造軸組工法による耐火建築物建設の運用にかかわる関係等の目的で協会内で利用させていただきます。必要に応じて、情報の提供を受けることにより弊会へ開示することはありません。

工事完了報告時には、完成外観写真データ（1枚以上）もEメールで送信する。可能な限り外観全景が入った数百KB以上のもの。

## ◆月次進捗報告書「様式 - 3」

着工後、着工日と上棟完了日を記入し、当月の該当する工事に✓を付け、提出日、報告者氏名を記入しFAXにて提出する。

(一社)日本木造住宅産業協会 技術開発部 宛  
TEL:03-5114-3012 FAX:03-5114-3020 E-MAIL:gijutu.k1018@mokujukyo.or.jp

様式-3

認定書(写し)表紙 建築確認済報告書(様式-2)提出 着工 進捗報告書(様式-3)提出

着工後、「着工日」(上棟完了日)、「着工月」~「工事完了月」の毎月の進捗状況の□に✓を記入し、毎月末にFAXして下さい。  
工事完了時は、「工事完了日」(様式-2 提出日)を記入し、別紙(様式-2)と同様に報告下さい。

木造軸組工法による耐火建築物 月次進捗報告書

一般社団法人 日本木造住宅産業協会  
会長 市川 晃 殿 以下の通り報告いたします。

認定書(写し)表紙上の木匠印発行番号

1時間耐火構造  
2時間耐火構造

発行申請会社

工事名称

着工日 年 月 日 上棟完了日 年 月 日

進捗確認月

進捗状況  
※○に個人印(捺印)

コメント  
※当該月の進捗等

提出日 報告者名

1月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
2月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
3月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
4月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
5月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
6月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
7月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
8月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
9月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
10月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
11月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事  
12月 □ 基礎工事 □ 木工事 □ 屋根工事 □ 内装工事 □ 設備工事 □ 仕上げ工事

工事完了日 年 月 日 工事完了報告書(様式-2) 提出日 年 月 日

※個人情報の取扱いについて  
今回ご記入いただきました個人情報は、本造軸組工法による耐火建築物建設の運用にかかわる関係等の目的で協会内で利用させていただきます。必要に応じて、情報の提供を受けることにより弊会へ開示することはありません。